

神奈川県議会議員

佐々木ナオミの

県政レポート

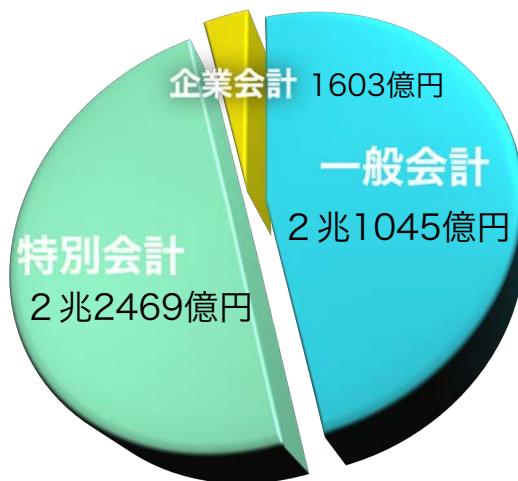
No.21



2024年度神奈川県議会第1回定例会 当初予算の概要

- デジタルの力の活用
- かながわ子育てパーソナルサポートの機能強化
- データ連携基盤の強化・業務用アプリ開発ツール導入による県業務の省力化
- 地域医療介護連携ネットワークで患者情報をデジタルで共有、質の高い医療・介護を提供
- 子ども・子育てへの支援
- 不妊治療費（先進医療分）の助成
- 紙おむつの処分費用等を支援することにより、手ぶらで保育を推進
- 私立高等学校等に通う多子世帯の生徒への学費補助拡大
- 脱炭素社会の実現
- 県有施設への太陽光発電の率先導入
- 医療費助成等、県単独補助事業の一般市町村との補助基準の格差を是正
- #7119 救急医療相談（119にかけるべきか迷ったとき）の全県開始

神奈川県2024年度予算



スクールソーシャルワーカーの常勤職員化を！ —— 予算委員会で質問しました

今、県立高校では、いじめも不登校も中途退学者も増加し、2022年度の不登校生徒数は3629人、中途退学者は2012人。スクールソーシャルワーカーは、不登校や退学になる前の段階で、課題を抱える生徒に寄り添い支援するのが本来の仕事です。

しかし、神奈川県教育委員会では、スクールソーシャルワーカーは各学校に週に1度しか訪問できず、1人の方が複数の高校を掛け持ちして対応しています。さらに、身が非正規で十分な権限がないために、たとえば深刻な性被害の相談に対し、その後フォローが十分にできずに、退学を余儀なくされた生徒さんがいた、という現場の声も聞きました。

スクールソーシャルワーカーは、非正規職員の中でも“官製ワーキングプア”といわれる、「パートの会計年度任用職員」として働いています。4年前から国が始めた新しい公務員の雇用形態ですが、1年ごとの契約で、更新の可否は年度終わりまでわからず、契約更新は2回まで。そのため、いつ仕事がなくなるかという不安を抱えながら働かざるを得ない状況です。困難を抱える生徒に寄り添

う重要な専門職を、こんなに不安定な形態で雇用して良いわけがありません。来年度予算では、常勤職員として配置すべきと強く求めました。

労働者のうち非正規が36%、女性の場合は半数以上。不安定な働き方を放置した

結果、この国の経済も人々の暮らしも疲弊し続けています。スクールソーシャルワーカーだけでなく、スクールカウンセラーや図書館司書、女性相談員なども非正規公務員として働いています。あらゆる分野での労働者不足が深刻である昨今、その需要に応えるためにも、労働に見合った公正な賃金、働く人の尊厳を守ることが大事なのだ、ということ、まずは公から範を示す責務があります。これからもこの問題に取り組みます。



県政調査で浜松～大阪へ

3月27日 — 防潮堤視察 浜松市沿岸の防潮堤「一条堤」を視察。東日本大震災での津波被害を教訓に、地元的一条工務店グループからの寄付金を原資として整備されました。また、計画策定当初から自然環境、植栽計画、景観デザインの3つの検討委員会を設定し、アカウミガメやカワラハンミョウといった希少生物の保護や自然な植栽も行うなど、防災と自然環境保護と景観とのすべてを同時に実現させるために、産学官民が連携してオール浜松でこの事業に取り組みました。私たちが暮らす神奈川県西部も、沿岸部は津波や高波といった災害の被害を行っています。防災のためにせつかくのすばらしい住環境が失われてしまったら本末転倒です。この事例を地元の事業にもしっかりと活かしていきます。



静岡県土木事務所の担当者から、防潮堤の説明を受ける。

3月28日 — 更生保護事業への支援 大阪市で活動する公益社団法人「OMOIYARIプロジェクト」の「職親（しょくしん）プロジェクト」を視察。刑務所出所者の再犯率の高さが社会問題化している中で、帰る場所や就労先がない、また就労しても定着が難しい出所者に、住居と就労場所を提供し、出所者に心に寄り添う支援を行う民間企業の活動団体。7社から始まった参加企業は、今や全国に376社にまで広がっています。



職親（しょくしん）プロジェクトの代表理事 草刈健太郎さんと。

法人代表理事の草刈健太郎さんから、実際の取り組み状況や、課題などをお聞きすると、採用後も姿を消したり、うそをつかれたり、再度犯罪に手を染めたりと、本当に大変とのこと。しかし、加害者を生まない社会をつくるのが、犯罪の減少につながると信じ、すべては更生の途中として受け止め、「だれも見放さない」で付き合っていこう、という草刈さんの姿に、深く感銘を受けました。

また、草刈さんの会社で更生した社員の方からもお話を聞くことができ、一人の人が希望を持って生きていく姿に、わたしも元気をいただきました。更生保護には多くの課題がありますが、こうした意義のある取り組みを、行政がどう支援していくのか、その必要性を強く感じました。

草刈さんご自身は、2005年に、妹さんを殺害された犯罪被害者でもあります。そんな草刈さんが、犯罪加害者支援に向き合う姿を描いたドキュメンタリー映画「おまえの親になったで」ぜひご注目ください。



12/25

いつもお世話になっている、ありんこホームのお茶会にお招きいただきました！
美味しいお抹茶と手作り和菓子で、ほっこり♪

1/2

久しぶりに開催した「着物で駅伝を応援！」イベント。主催は寺島ゆみこ小田原市議です。

3/9

3.8 国際女性デーにちなみ、県西の地方議員の皆さんと、ジェンダー平等を求める街宣活動。

2/18

終わりの見えないパレスチナ問題で街頭スタンディング。一刻も早い停戦を求めます。

**行った！
見た！
聞いた！**

3/2

都市計画道路城山多古線 新坂下トンネル工事の小学生見学会にお招きいただきました！

1/14

小田原駅伝大会に来賓として参加。ミモザりっけんの皆さんと！

12/9

小田原・足柄地域連合の皆さんと、歳末の助け合い募金活動。地元の児童養護施設や福祉施設へ今年もお届けします！

事務所のご案内

佐々木ナオミ事務所
〒250-0875
小田原市南鴨宮 3-6-13
天野ビル 1F 西
phone.0465-46-6831
fax.0465-46-6857

月～金
PM2～4
OPEN